

決算の状況

I 決算概況

- (1) 平成23年度一般会計の決算内容についてみると、歳入決算額は3兆560億円で、前年度における減債基金等の取崩しに伴う繰入金の影響がなくなったこと等により、8,608億円、率にして21.98%減少している。
- (2) 一方、歳出決算額は3兆377億円で、前年度に基金借入金を解消するために支出した補助費等の影響が今年度はなくなったこと等により、8,470億円、率にして21.80%減少している。
- (3) なお、前年度において実施された減債基金等の取崩し及び基金借入金の解消に伴う処理を除いたベースで比較すると、歳入決算額は2,020億円、率にして6.20%減少しており、歳出決算額は1,841億円、率にして5.71%減少している。
- (4) 形式収支は、183億円の黒字を計上し、6年連続の黒字となった。形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も、105億円の黒字となったものの、前年度に比べ、152億円減少している。
- (5) 一般会計と特別会計(Ⅱ 3 特別会計 参照)の額を合算したもののから地方公営企業会計に係る収支を除いた普通会計ベースでの実質収支は、124億円となっており、前年度に引き続き赤字を回避している。財政構造の弾力性を示す指標である経常収支比率は、繰入金の減少、補助費等の減少等により、前年度より5.7ポイント上昇し、97.0%となった。

平成22年度及び平成23年度一般会計決算

(単位:億円)

		23年度	22年度	差引
予 算 現 額		30,926	39,364	△ 8,437
歳 入 決 算 額 A		30,560	39,168	△ 8,608
主	府 税	10,427	10,657	△ 230
	法 人 二 税	2,687	2,629	58
	地 方 消 費 税	2,608	2,752	△ 143
な	地 方 譲 与 税	1,172	1,072	100
	地 方 特 例 交 付 金	99	110	△ 11
	地 方 交 付 税	2,973	2,995	△ 22
科	国 庫 支 出 金	2,484	2,869	△ 386
	繰 入 金	960	7,521	△ 6,562
	諸 収 入	5,972	7,107	△ 1,135
目	府 債	3,881	4,044	△ 164
歳 出 決 算 額 B		30,377	38,847	△ 8,470
主	義 務 的 経 費	11,956	11,741	215
	人 件 費	8,237	8,210	27
	公 債 費	3,268	3,102	166
	扶 助 費	451	429	22
科	投 資 的 経 費	1,775	2,067	△ 292
	そ の 他 経 費	16,646	25,038	△ 8,392
目	補 助 費 等	9,477	15,779	△ 6,302
	貸 付 金	5,560	6,745	△ 1,185
形 式 収 支 C=A-B		183	322	△ 139
翌年度繰越財源 D		78	65	13
実 質 収 支 C-D		105	257	△ 152

注：形式収支＝歳入決算額－歳出決算額

実質収支＝形式収支－翌年度繰越財源(翌年度繰越額から未収入特定財源を差し引いたもの)